

# 産学官連携リスクマネジメントの取組状況

平成26年度産学連携等実施状況調査(関連調査)に基づく速報値



文部科学省

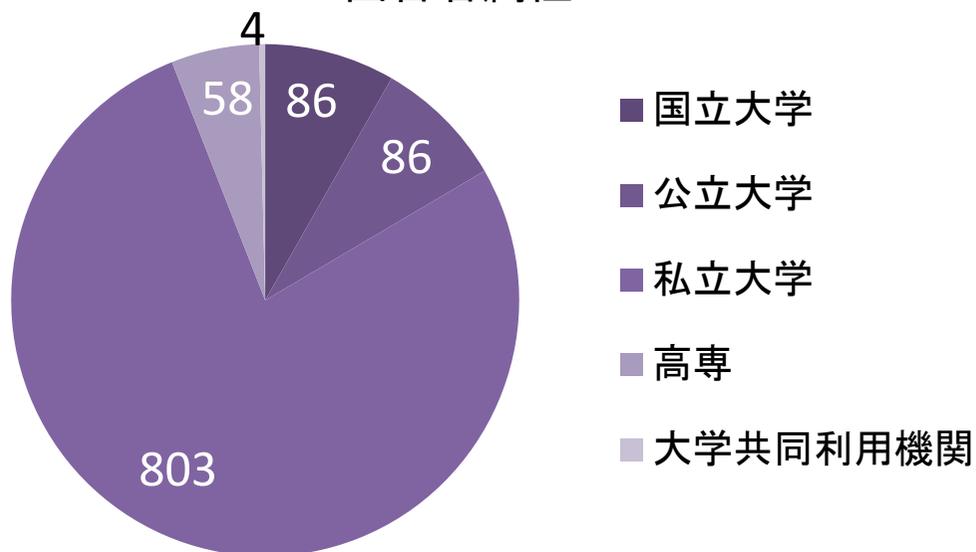
科学技術・学術政策局 産業連携・地域支援課  
大学技術移転推進室

## 回答者属性等

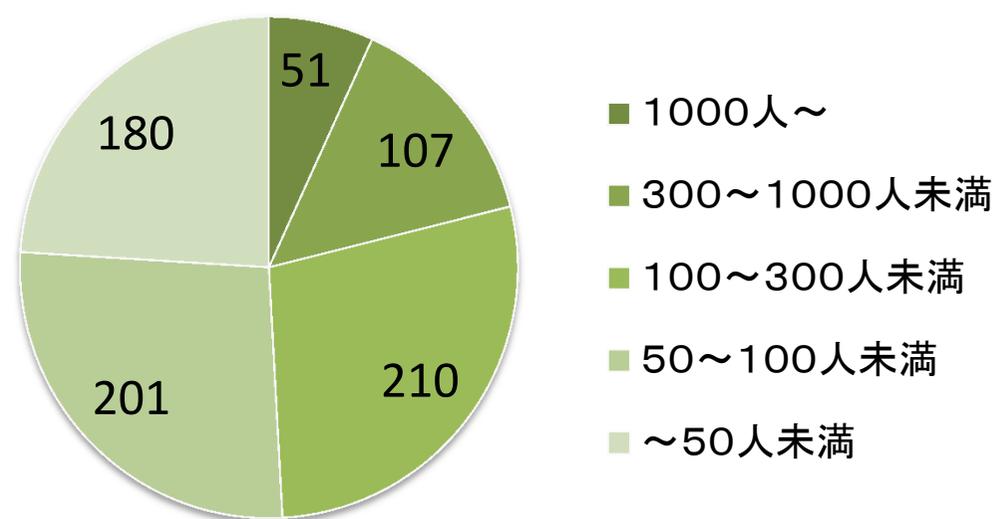
平成26年度産学連携等実施状況調査は、全国の大学等1085機関を対象に、産学連携等の実施状況について広く把握し、今後の産学連携等施策の企画・立案に反映させることを目的として、文部科学省が実施しているもの。本調査において、産学官連携リスクマネジメント(利益相反マネジメント、技術流出防止マネジメント)の取組状況を調査したところ。

調査対象機関は、国公立大学、国公立高等専門学校、大学共同利用機関(全1085機関)。産学関連リスクマネジメントの調査項目については、関連調査として実施され、以下属性の機関から回答があったところ。

### 大学、高専、大学共同利用機関別の回答者属性



### 研究者数別の回答者属性

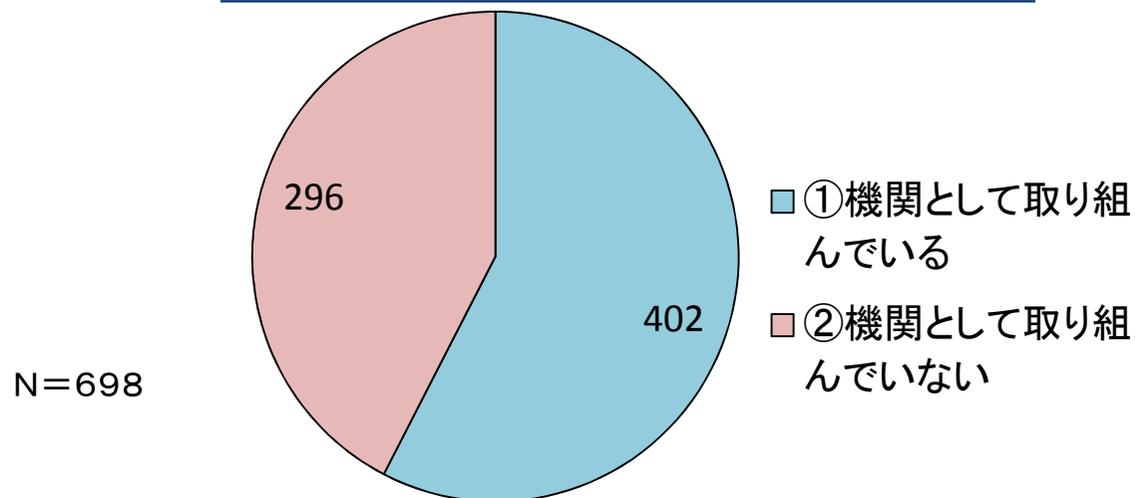


「研究者数」は、府省共通研究開発管理システム(e-Rad)に登録されており、かつ科研費への応募資格を有する研究者の人数（各機関からの回答を基づいた研究者の人数）

# 利益相反マネジメント(一般)に関する 各大学等の取組状況

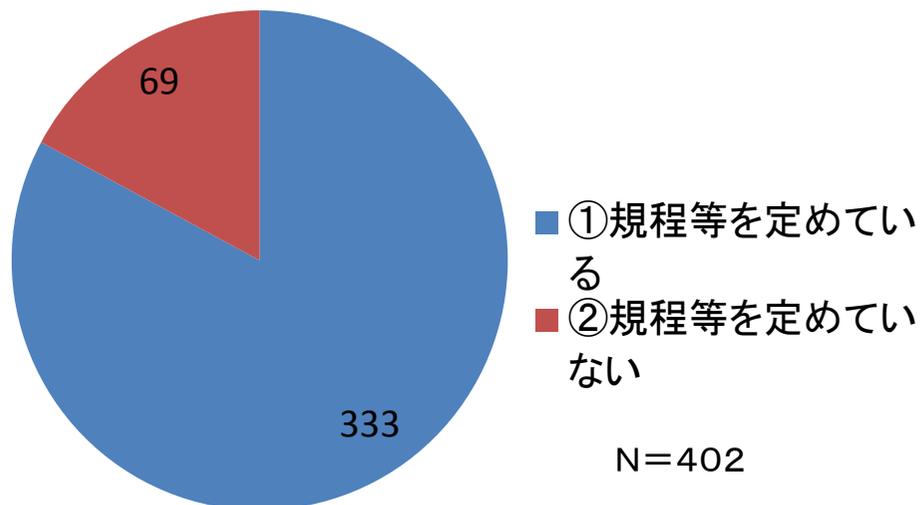
# 利益相反マネジメント(一般)に関する各大学等の取組状況等①

## ● 機関として利益相反(一般)に取り組まれている機関数

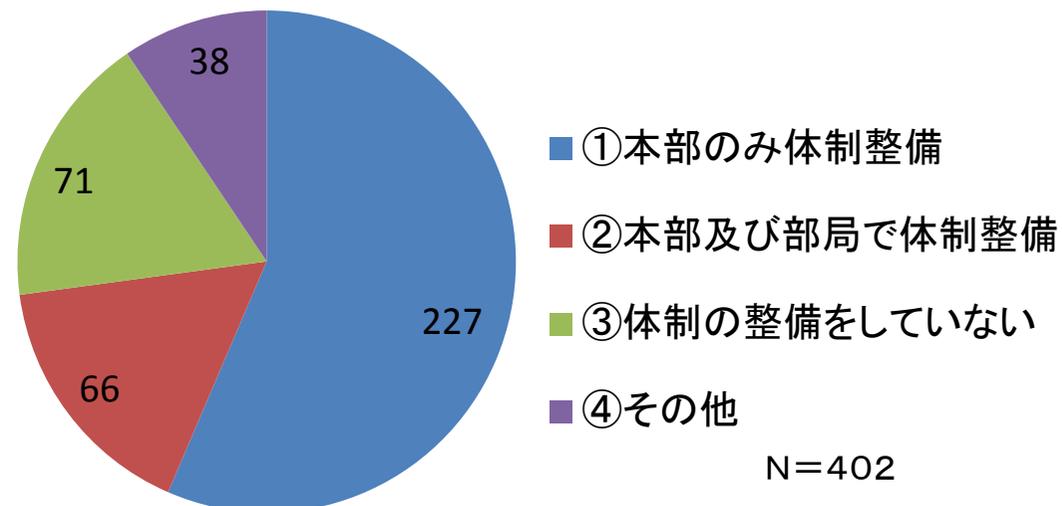


「①機関として取り組んでいる」と回答した大学等のみについて、これ以降の取組み内容を調査

## ● 利益相反(一般)に関する規程等を定めている機関数

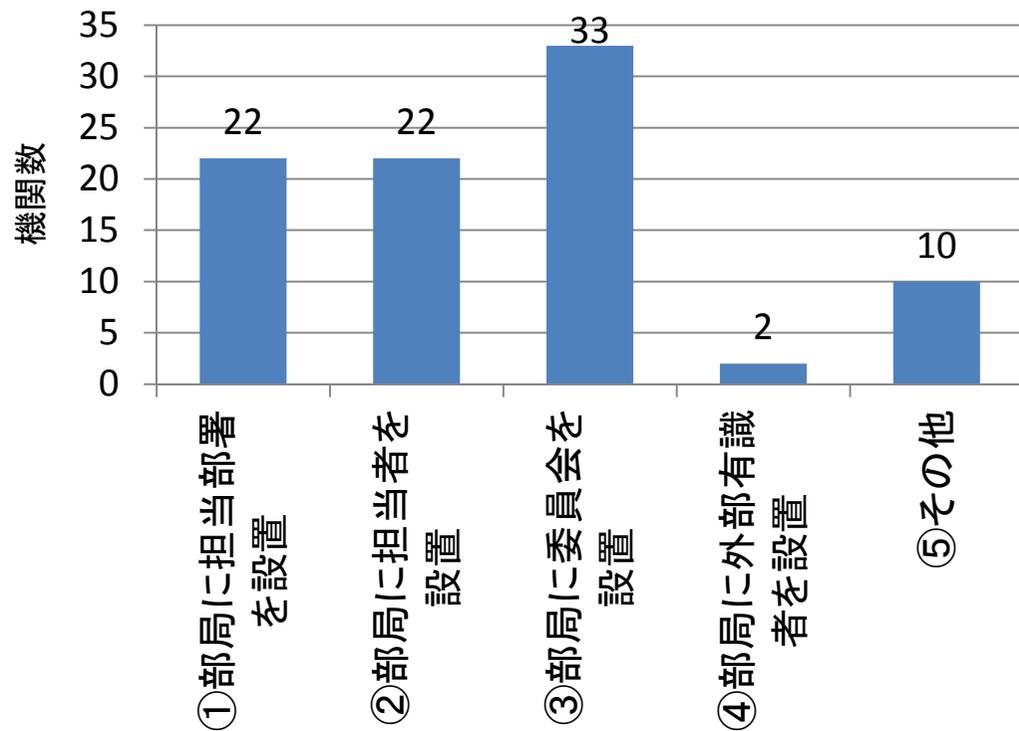


## ● 利益相反(一般)について、研究機関全体の体制別の機関数



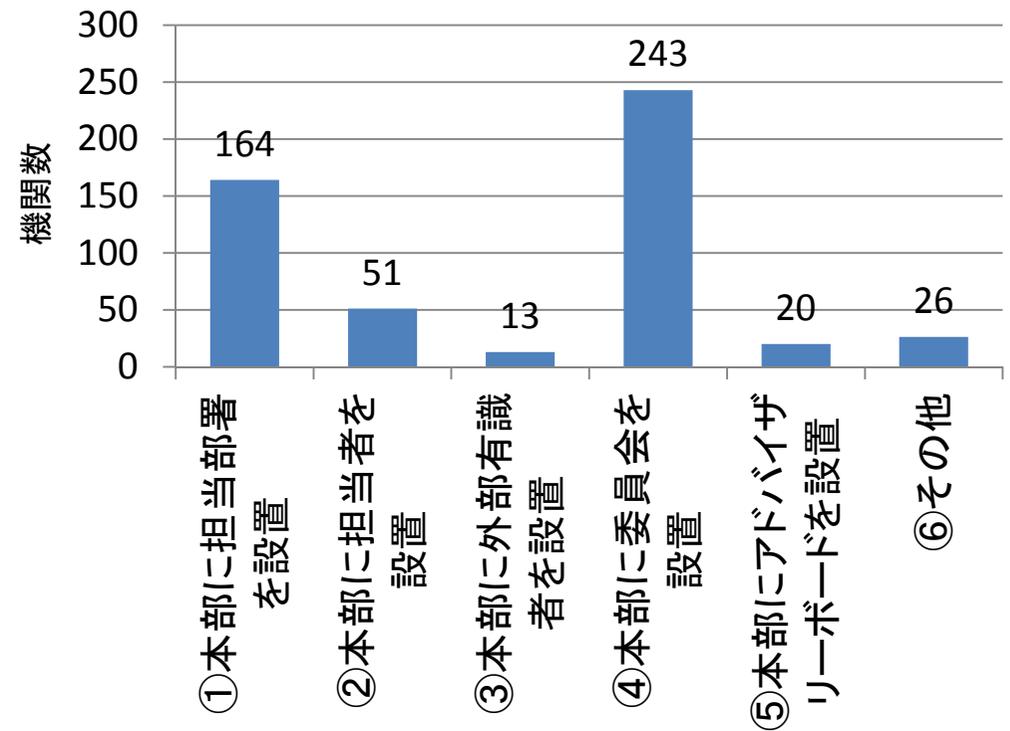
# 利益相反マネジメント(一般)に関する各大学等の取組状況等②

● 利益相反(一般)について、部局の体制(機関数)



複数回答可  
部局の体制整備をしている機関が対象  
N=66

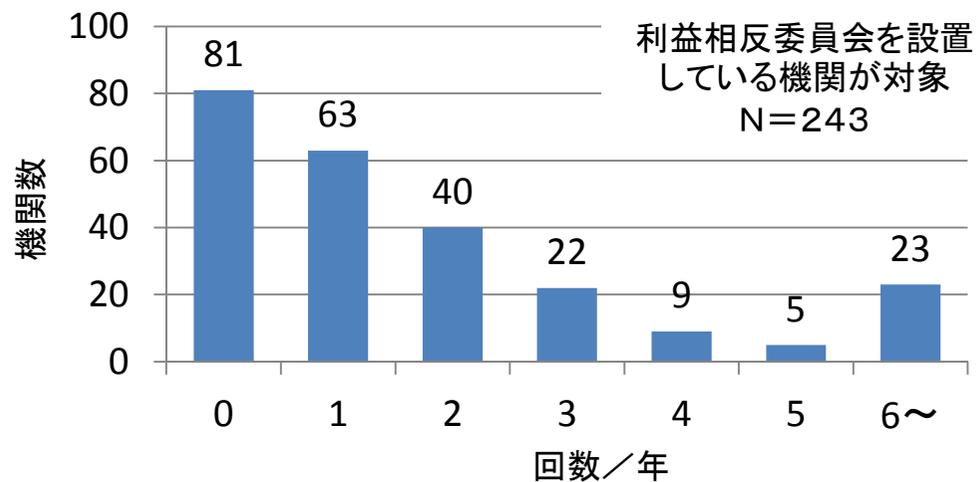
● 利益相反(一般)について、本部の体制(機関数)



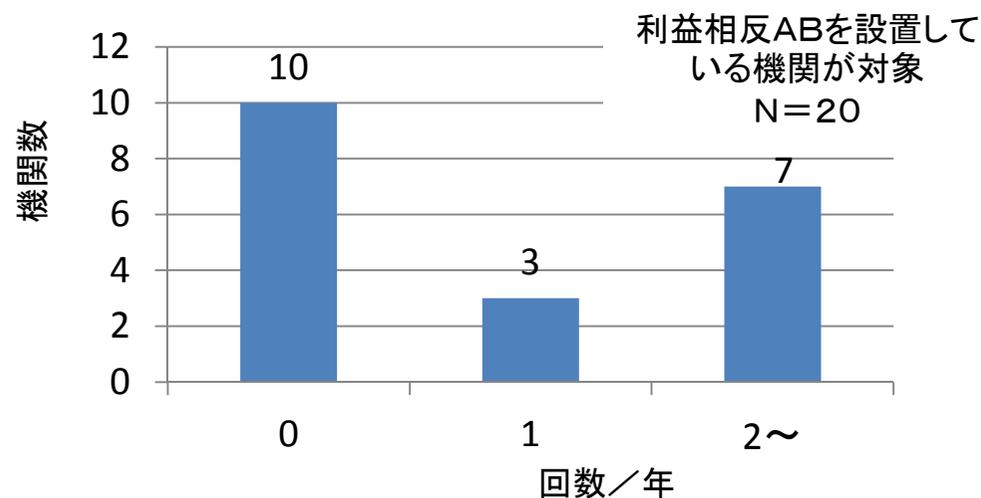
複数回答可  
本部の体制整備をしている機関が対象  
N=293

# 利益相反マネジメント(一般)に関する各大学等の取組状況等③

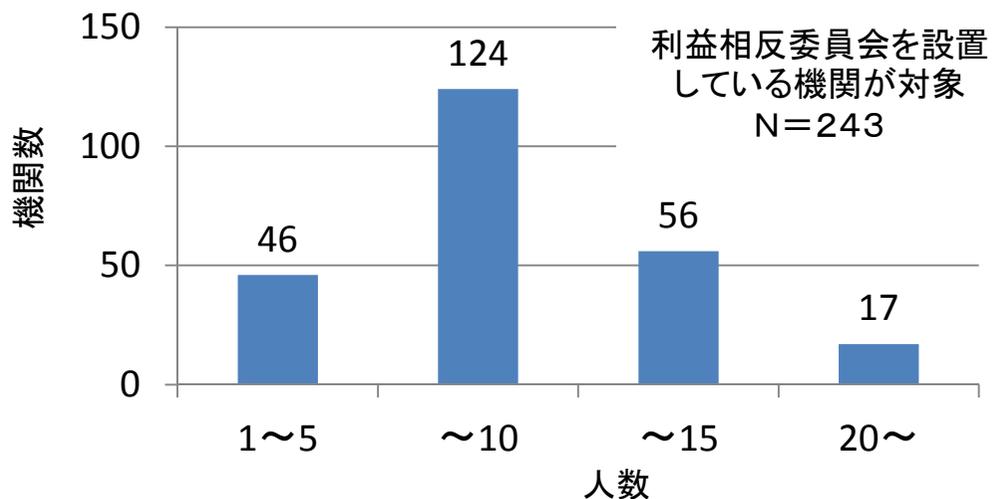
## ● 利益相反委員会(利益相反マネジメントの最終的な判断を行う会議体)の開催回数の機関別分布



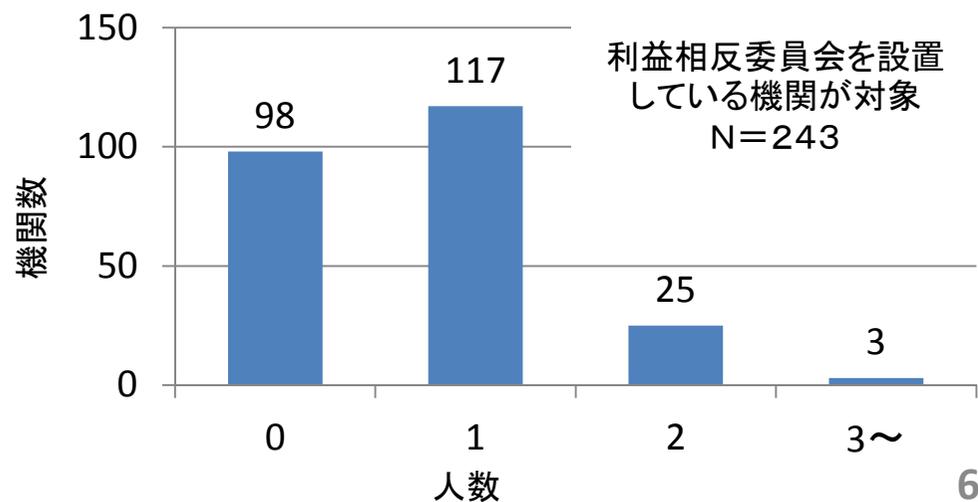
## ● 利益相反アドバイザリー・ボード(利益相反マネジメントの最終的な判断を行う会議体・社に対してアドバイスする組織体)の開催回数の機関数分布



## ● 利益相反委員会の機関毎の人数

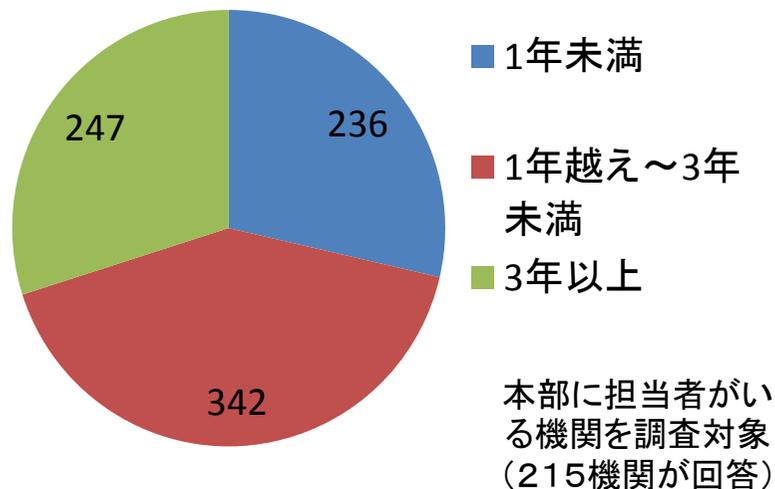


## ● 利益相反委員会の機関毎の外部有識者の人数

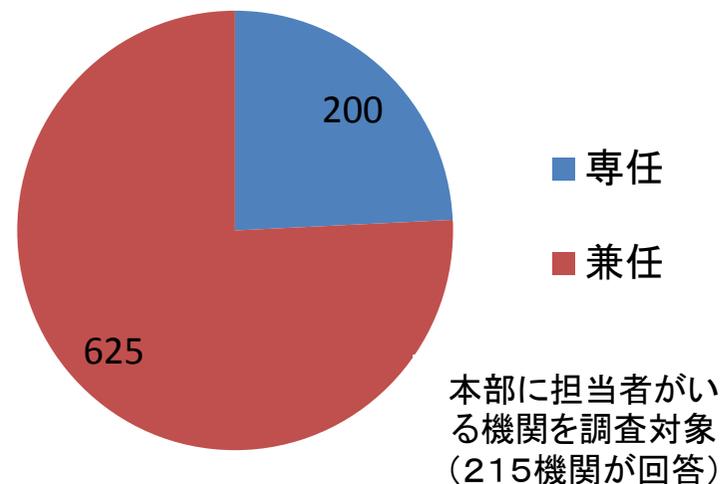


# 利益相反マネジメント(一般)に関する各大学等の取組状況等④

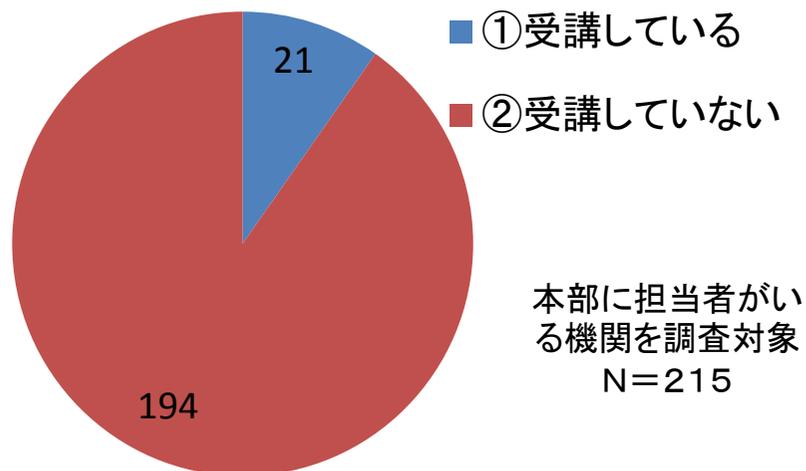
● 本部に所属する担当教職員の業務経験年数別の人数



● 本部に所属する担当教職員の専任／兼任別の人数

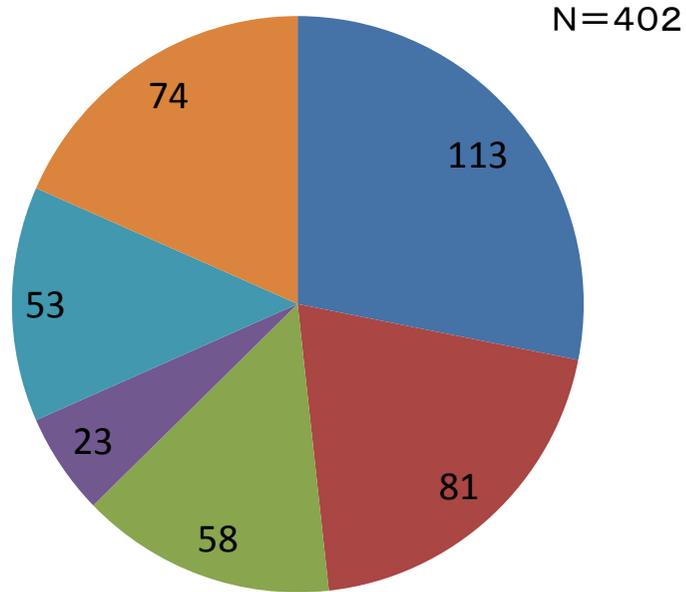


● 担当教職員の利益相反マネジメントにかかる研修受講状況(平成26年度) (機関数)



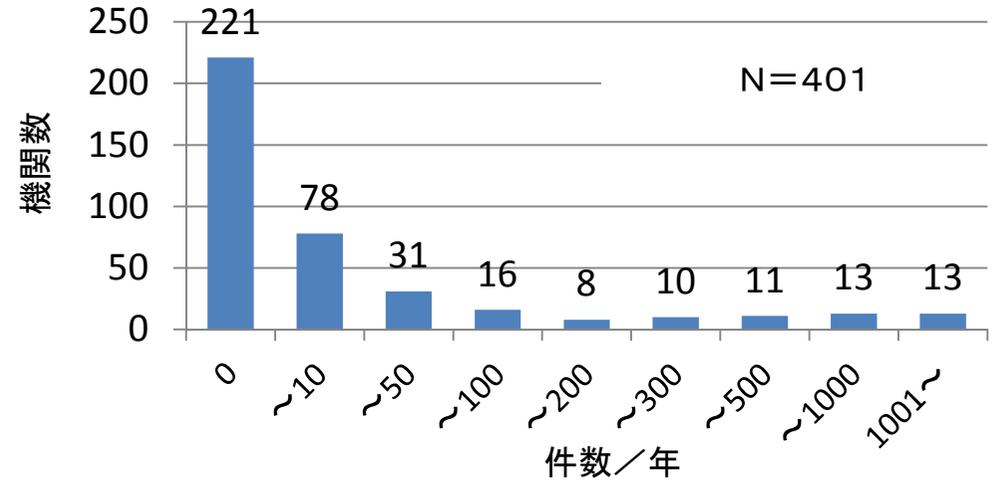
# 利益相反マネジメント(一般)に関する各大学等の取組状況等⑤

## ● 利益相反(一般)における案件の把握方法別の機関数

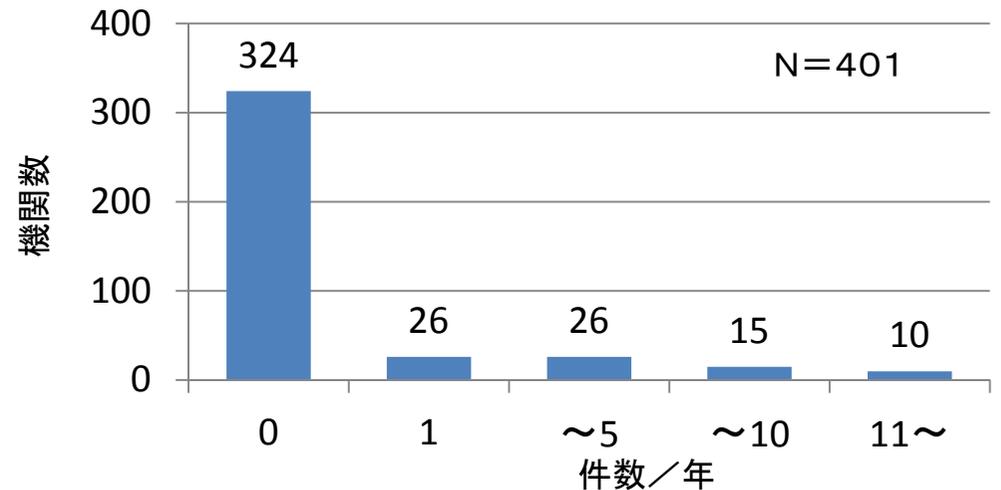


- ① 随時、自己申告書の提出を求めている
- ② 定期的に自己申告書の提出を求めている
- ③ 随時及び定期的に自己申告書の提出を求めている
- ④ アドバイザー等に直接相談
- ⑤ その他手続き
- ⑥ 仕組みを構築していない

## ● 利益相反(一般)について、機関として把握した申告のあった件数の機関数分布

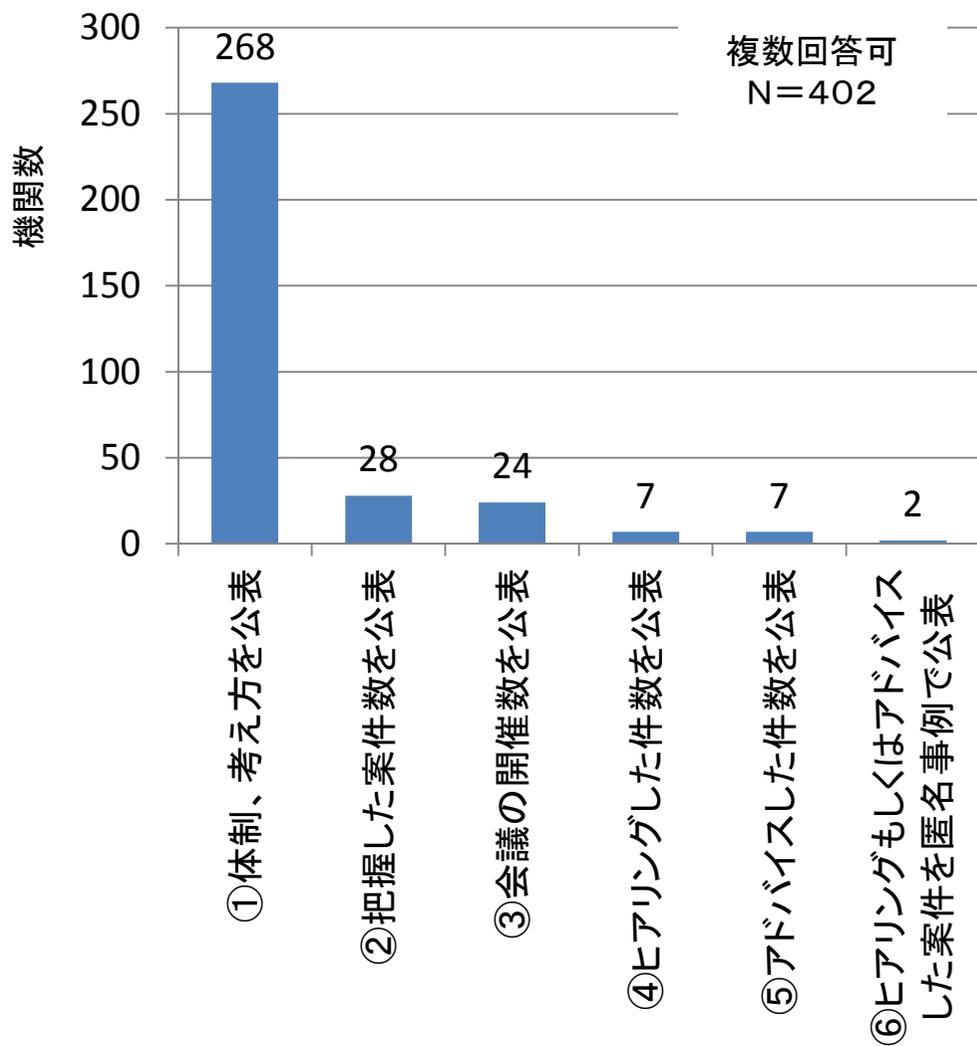


## ● 利益相反(一般)の案件把握後に、ヒアリング(具体的な事実関係の調査等)をした件数の機関数分布

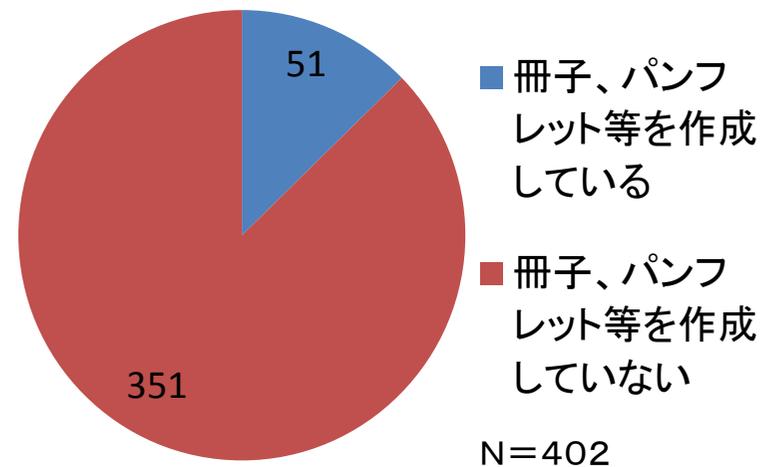


# 利益相反マネジメント(一般)に関する各大学等の取組状況等⑥

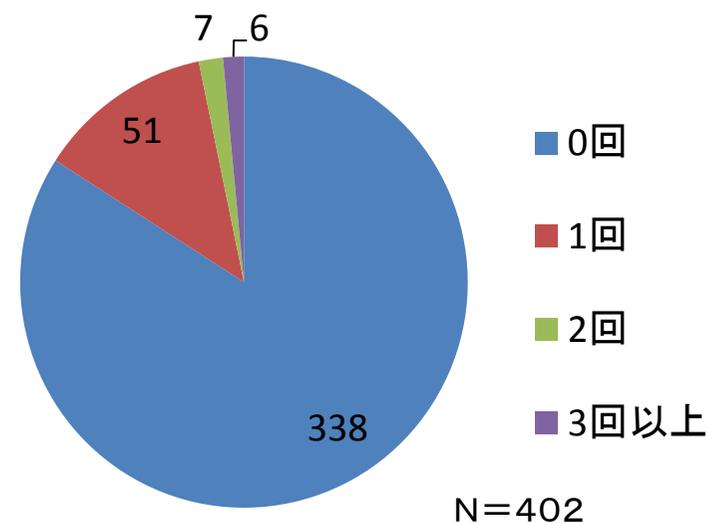
● 利益相反(一般)における公表状況(機関数)



● 利益相反(一般)マネジメントについての冊子、パンフレット等(教職員向け)を作成(機関数)



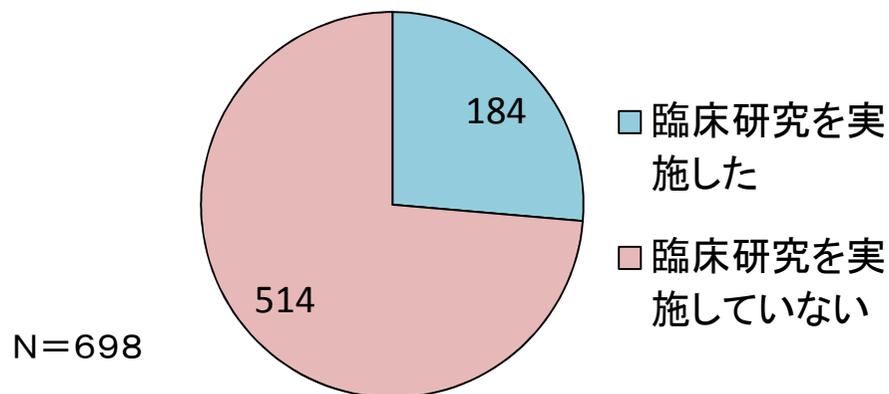
● 利益相反(一般)における研究者向け説明会の開催回数(平成26年度)(機関数)



# 利益相反マネジメント(臨床)に関する 各大学等の取組状況

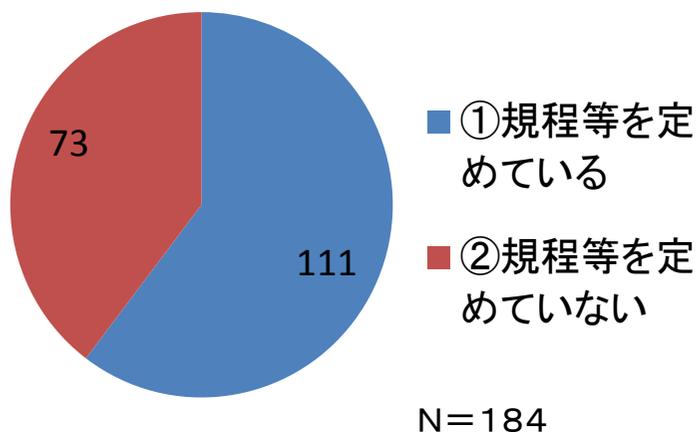
# 利益相反マネジメント(臨床)に関する各大学等の取組状況等①

● 平成26年度に機関において臨床研究を実施した機関数

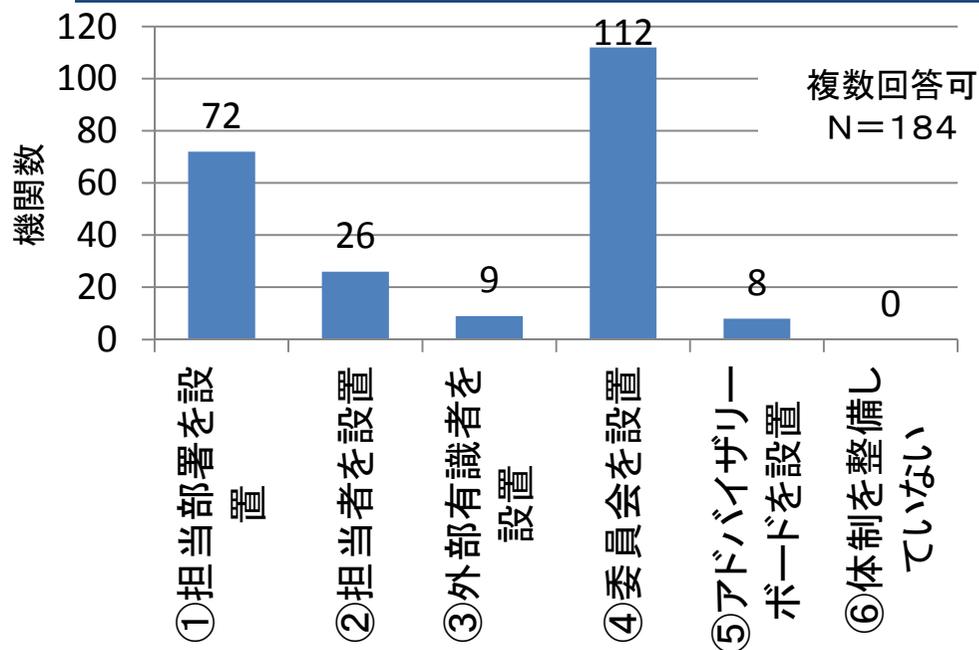


これ以降は、「臨床研究を実施した」機関のみが、取り組み内容について回答

● 利益相反(臨床)に関する規程等を定めている機関数

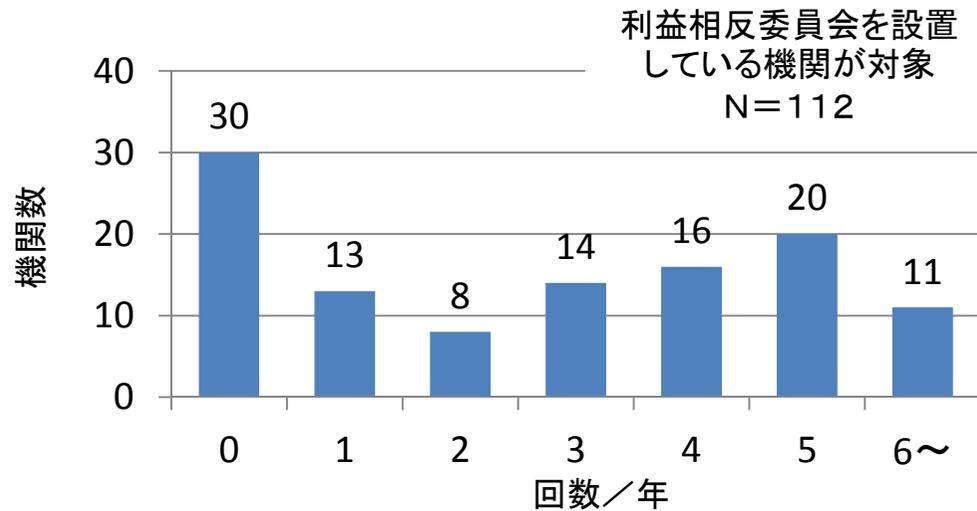


● 利益相反(臨床)について、研究機関全体の体制別の機関数

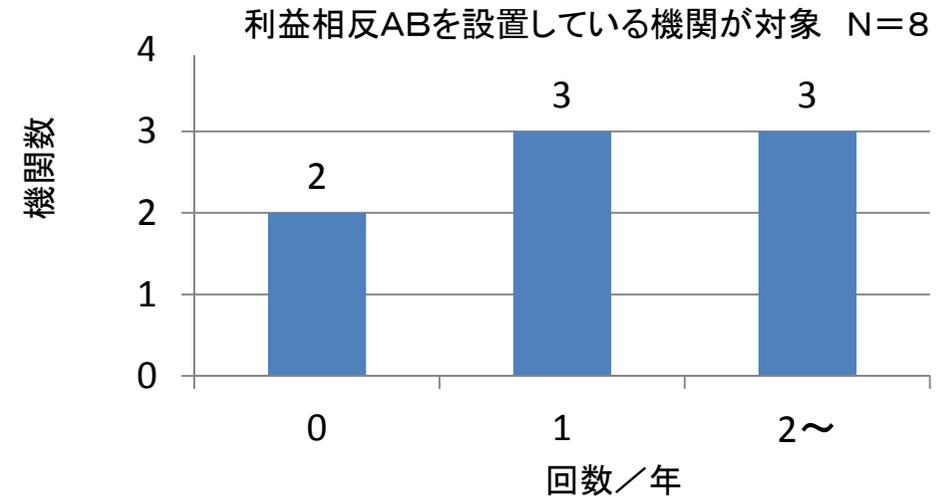


# 利益相反マネジメント(臨床)に関する各大学等の取組状況等②

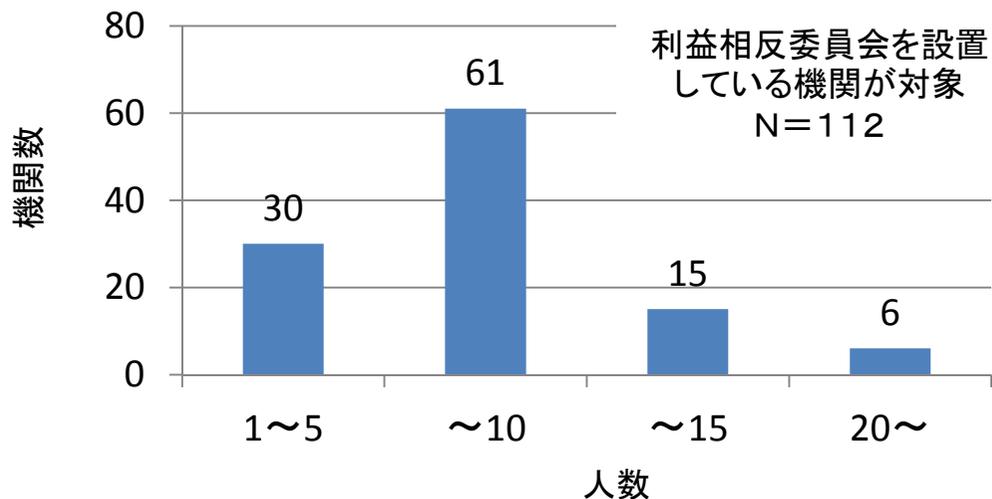
## ● 利益相反委員会(利益相反マネジメントの最終的な判断を行う会議体)の開催回数の機関別分布



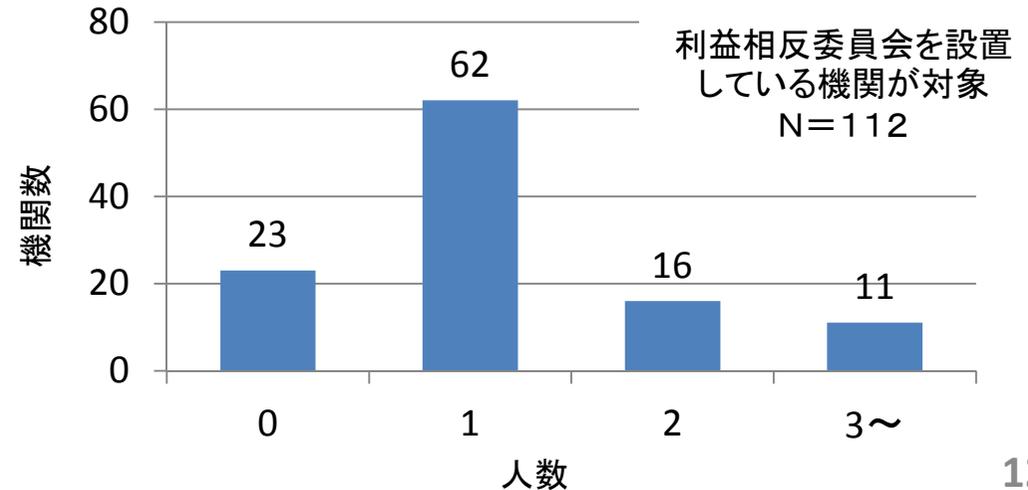
## ● 利益相反アドバイザリー・ボード(利益相反マネジメントの最終的な判断を行う会議体・社に対してアドバイスする組織体)の開催回数の機関数分布



## ● 利益相反委員会の機関毎の人数

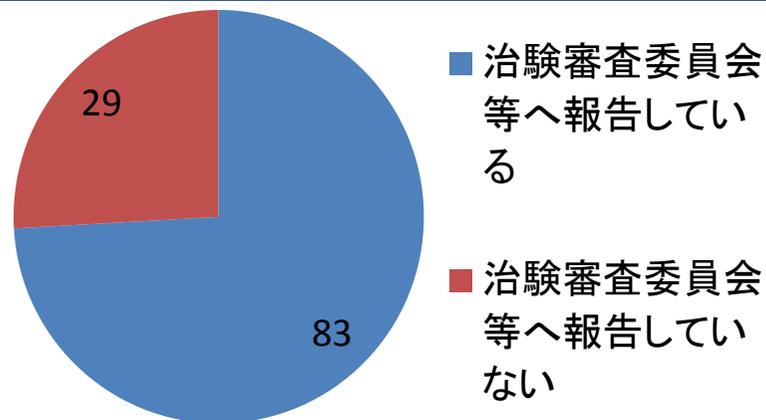


## ● 利益相反委員会の機関毎の外部有識者の人数



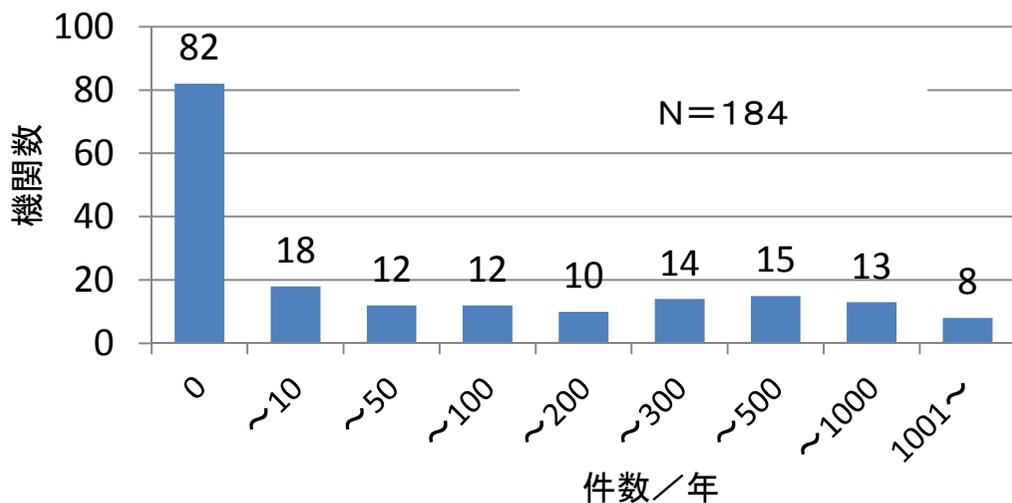
# 利益相反マネジメント(臨床)に関する各大学等の取組状況等③

- 利益相反に係る委員会において、研究者が利益相反状態にあると判定された場合、要約書や意見書を治験審査委員会(IRB)や臨床研究倫理委員会等へ報告する機関数

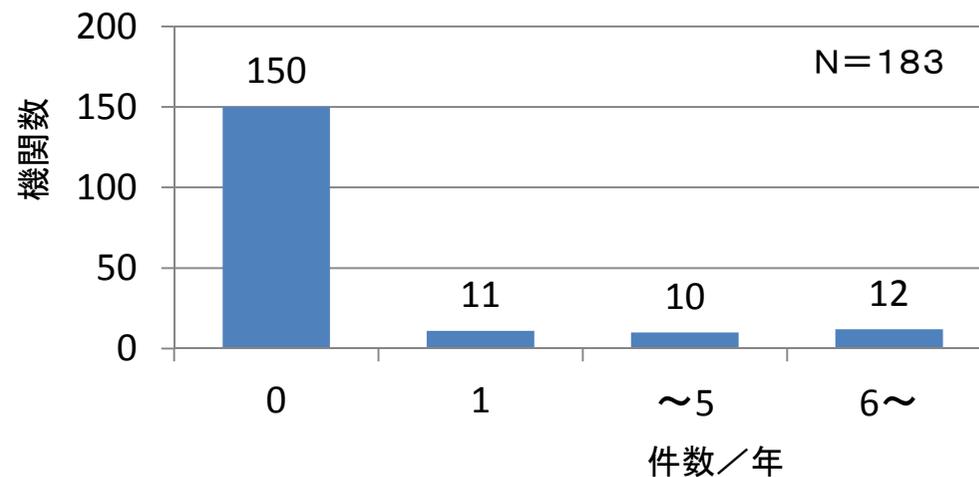


利益相反委員会を設置している機関が対象  
N=112

- 利益相反(臨床)について、機関として把握した申告のあった件数の機関数分布



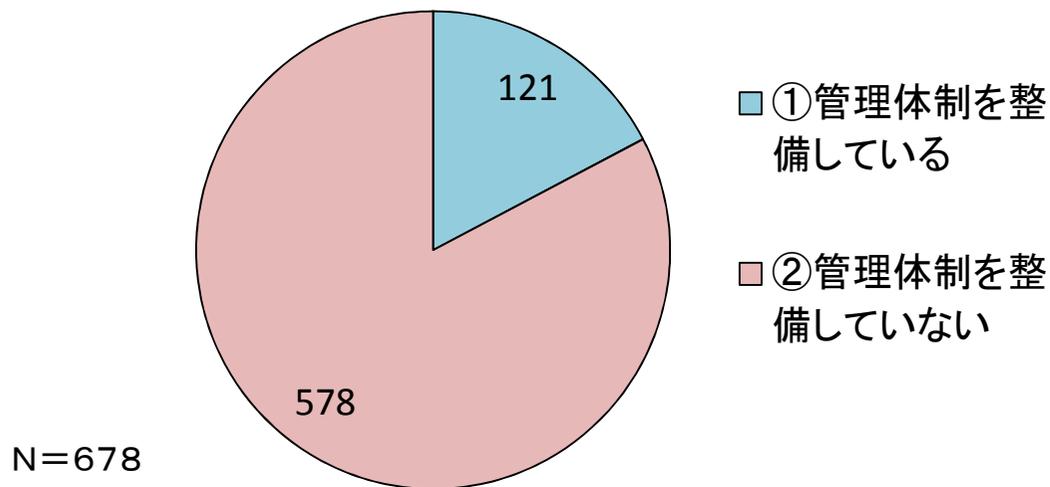
- 利益相反(臨床)の案件把握後に、ヒアリング(具体的な事実関係の調査等)をした件数の機関数分布



# 技術流出防止マネジメント(安全保障貿易管理) に関する各大学等の取組状況

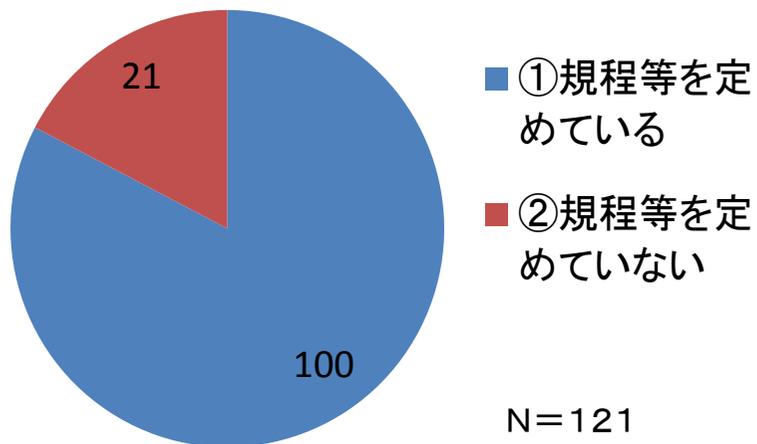
# 安全保障貿易管理に関する各大学等の取組状況等①

- 機関として安全保障貿易管理体制(相談窓口、担当部署、担当者等の設置)を整備している機関数

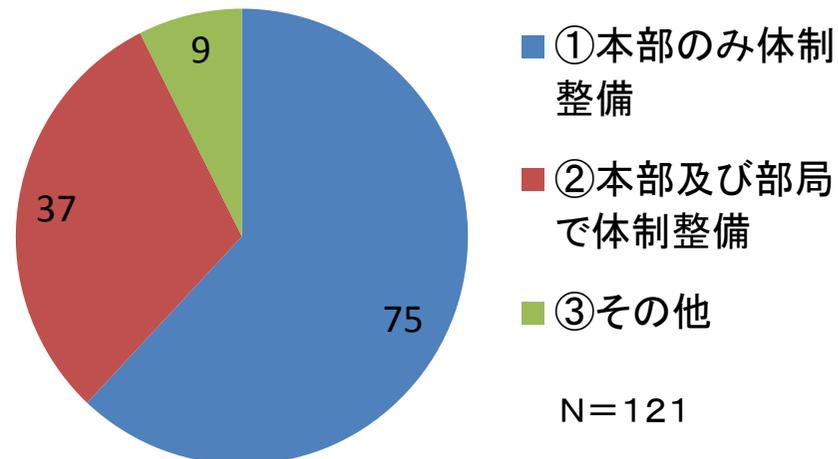


「①管理体制を整備している」と回答した大学等のみについて、これ以降の取り組み内容を調査

- 機関として必要な規程等を定めている機関数

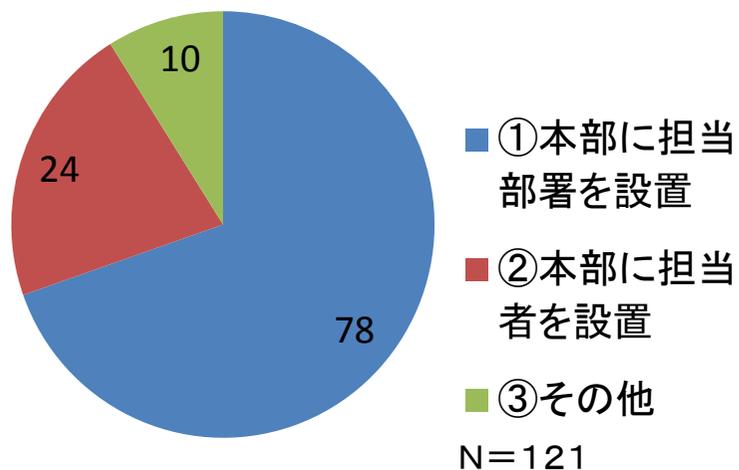


- 研究機関全体の体制状況 (機関数)

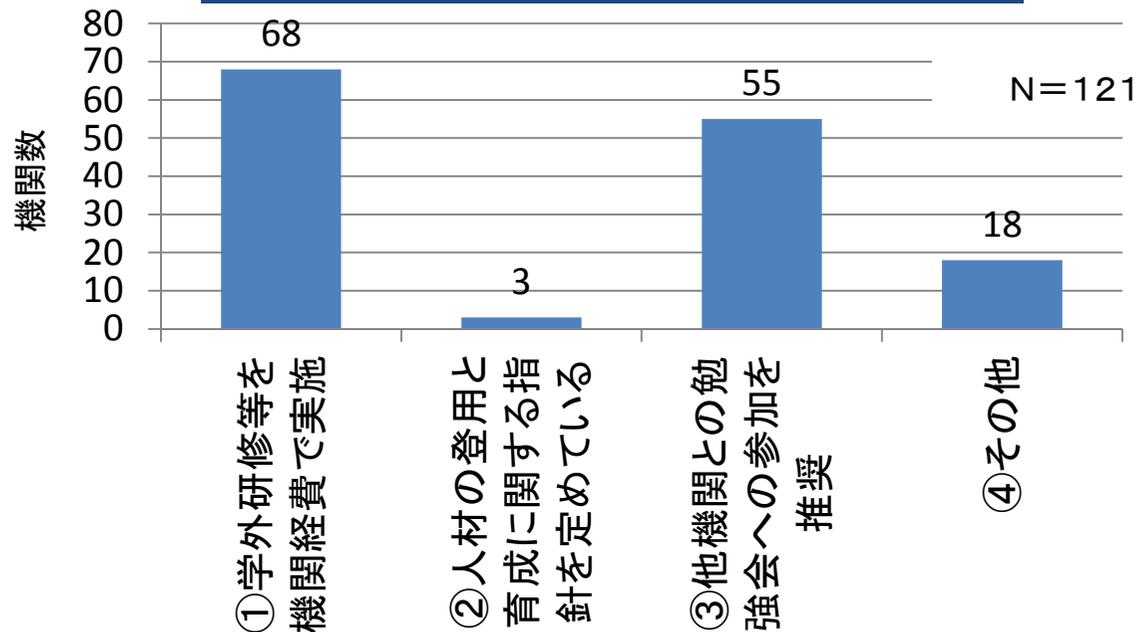


# 安全保障貿易管理に関する各大学等の取組状況等②

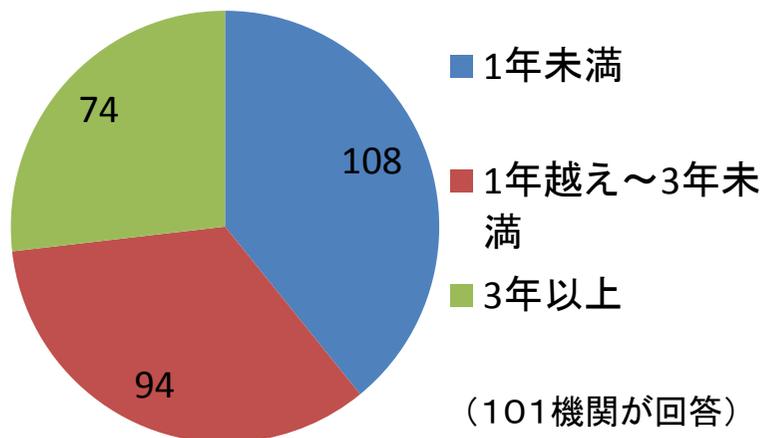
## ● 本部の体制状況(機関数)



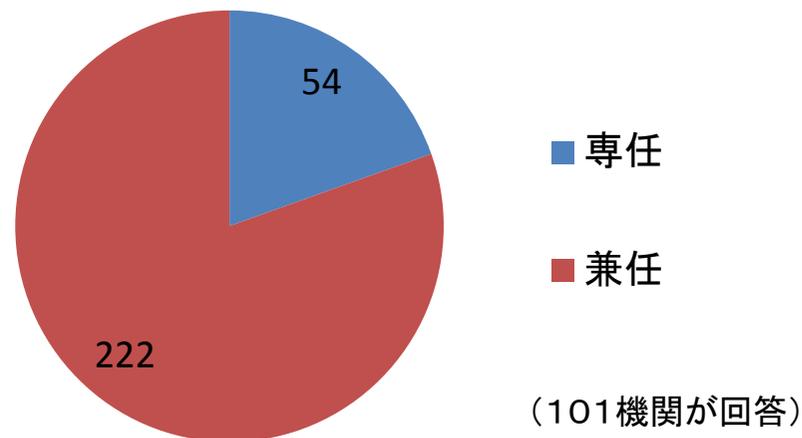
## ● 安全保障貿易管理の担当部署の構成員、担当教職員の育成方法(機関数)



## ● 本部に所属する担当教職員の業務経験年数別の人数

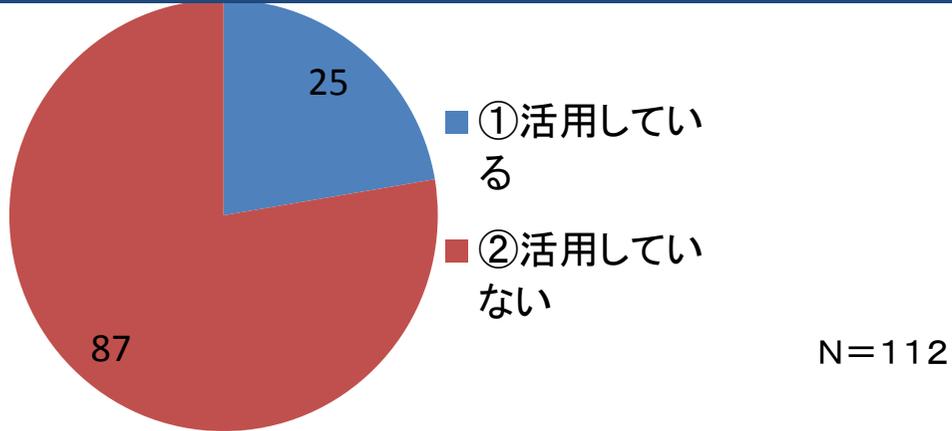


## ● 本部に所属する担当教職員の専任/兼任別の人数

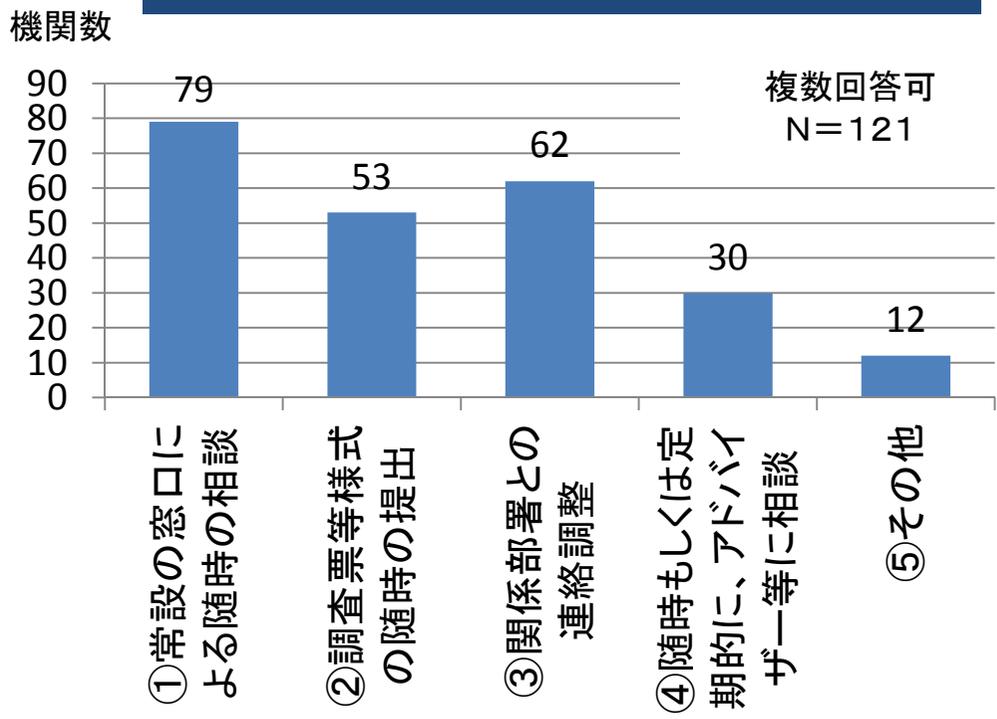


# 安全保障貿易管理に関する各大学等の取組状況等③

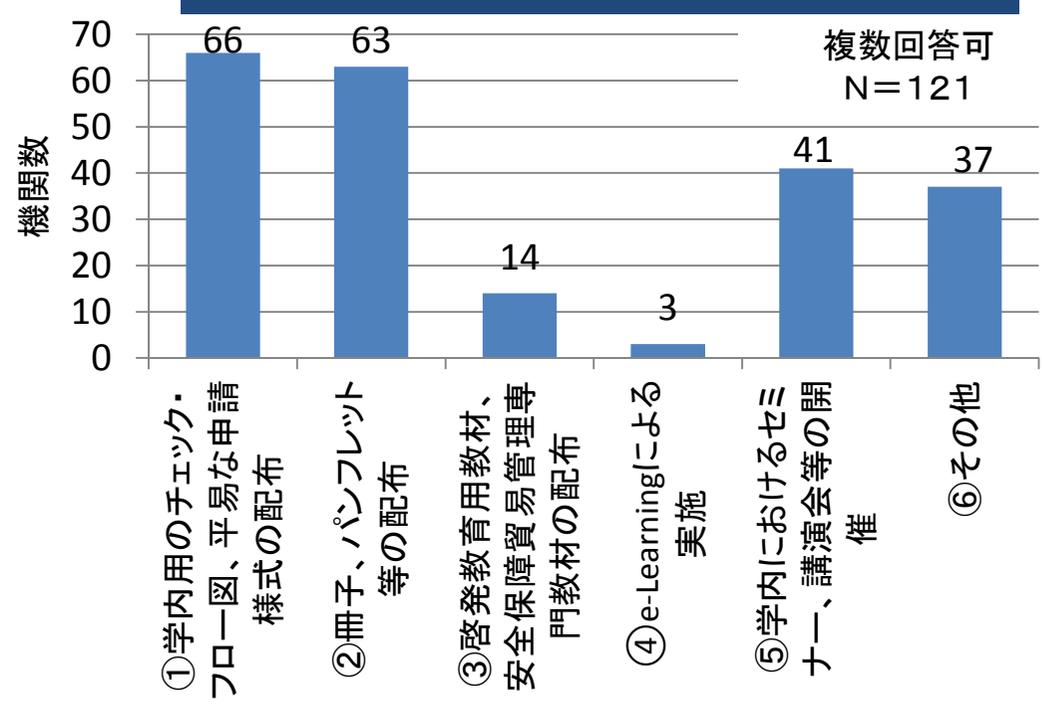
● 安全保障貿易管理について外部専門家の活用状況(機関数)



● 安全保障貿易管理における案件の把握方法(機関数)

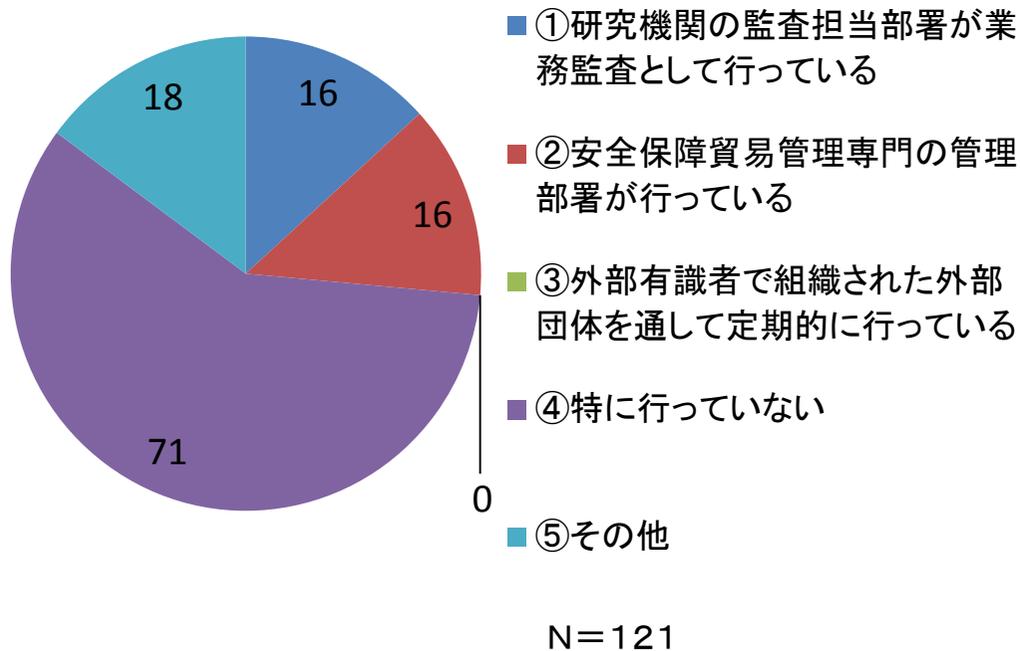


● 安全保障貿易管理における啓発活動方法(機関数)

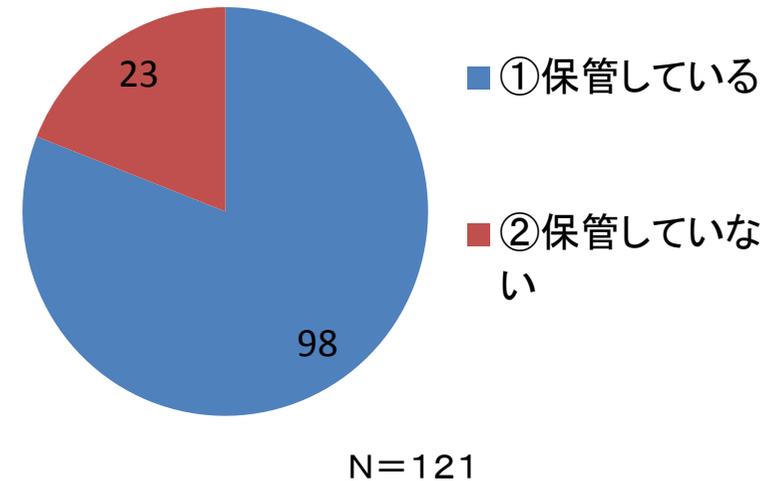


# 安全保障貿易管理に関する各大学等の取組状況等④

## ● 安全保障貿易に関する監査の方法（機関数）



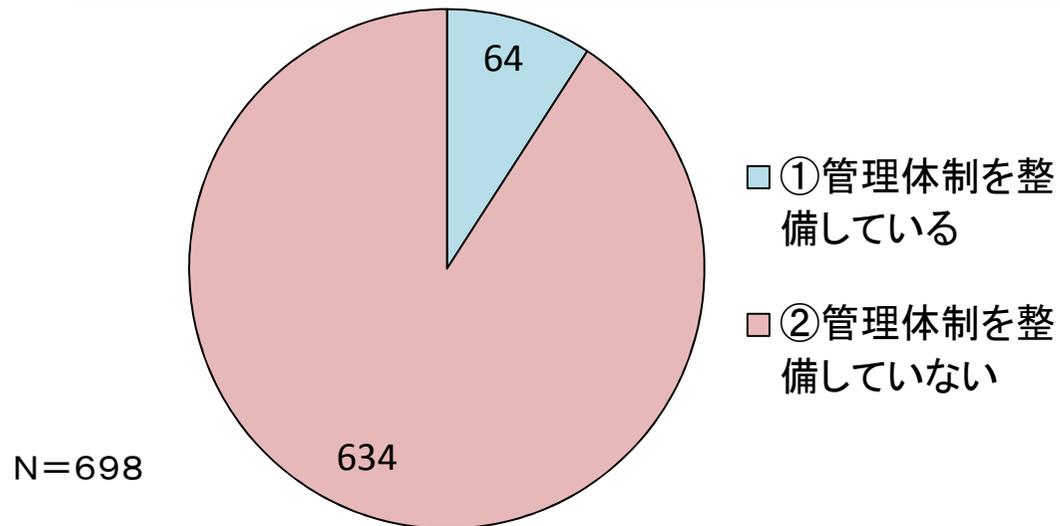
## ● 安全保障貿易管理に関して確認・作成した資料を保管の有無（機関数）



# 技術流出防止マネジメント(営業秘密管理) に関する各大学等の取組状況

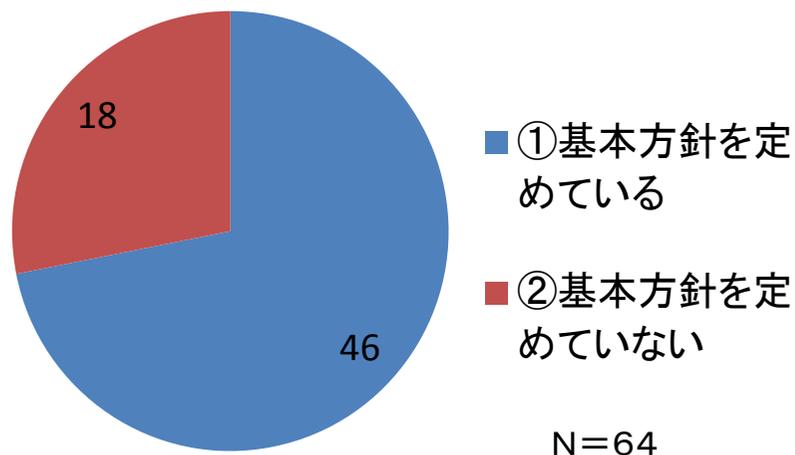
# 営業秘密管理に関する各大学等の取組状況等①

- 機関として営業秘密管理体制の整備(基本方針、実施計画の策定、ルール構築)をしている機関数

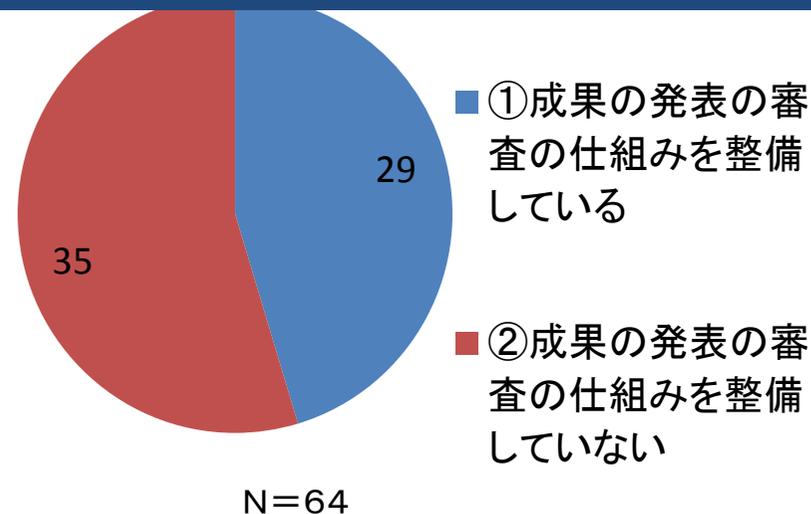


「①管理体制を整備している」と回答した大学等のみについて、これ以降の取り組み内容を調査

- 機関として営業秘密管理に係る基本方針を定めている機関数

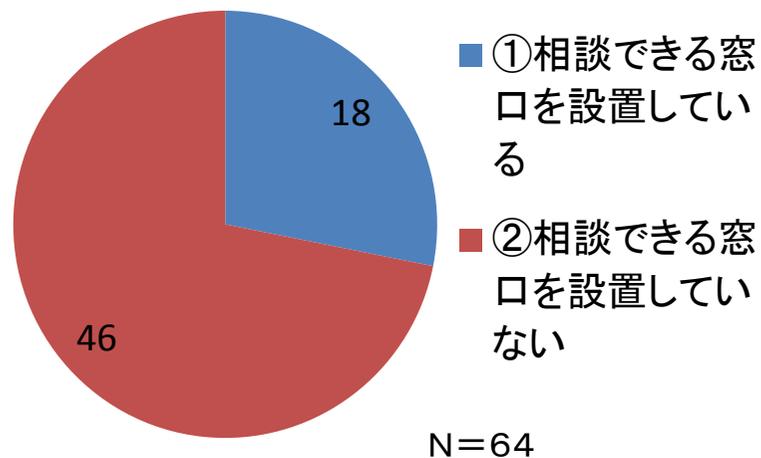


- 機関として、学内における、営業秘密を含む成果の発表(特許出願を含む)の審査の仕組みについて整備している機関数

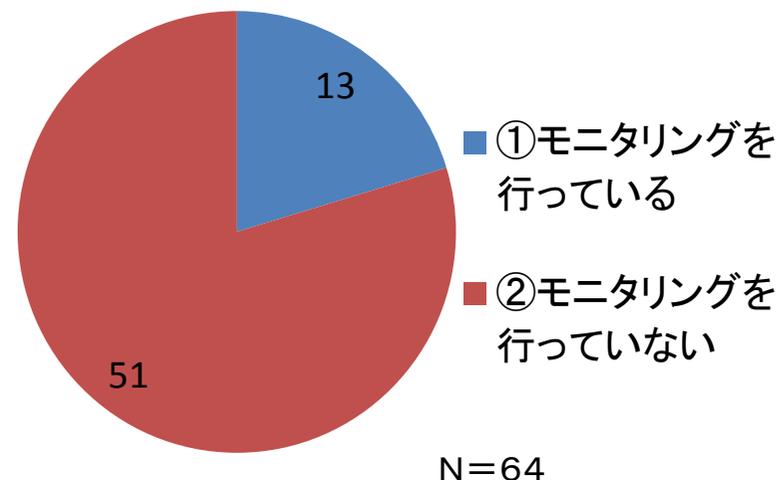


## 営業秘密管理に関する各大学等の取組状況等②

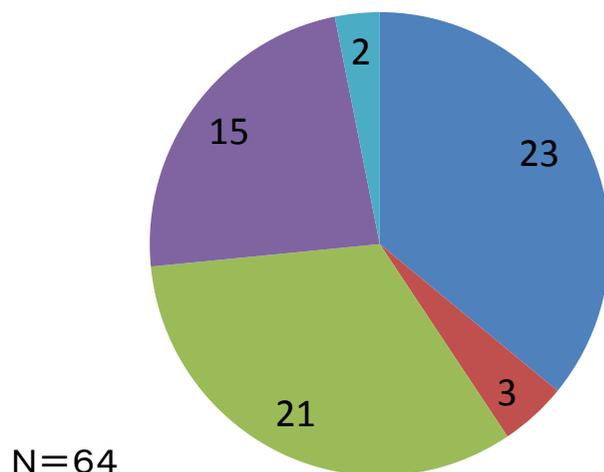
- 情報取得行為が不正競争防止法等に違反していないかを相談できる窓口を設置している機関数



- 他者の営業秘密に接する可能性の高い教職員等に対してモニタリング(監視)を行っている機関数



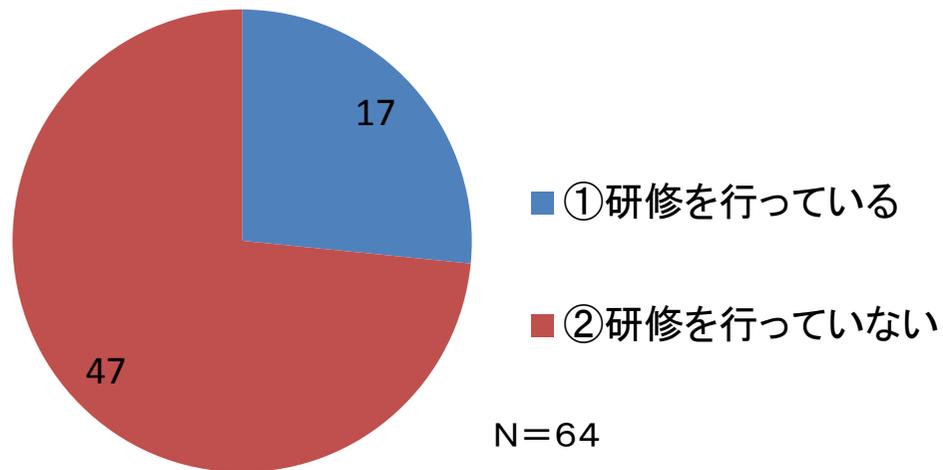
- 営業秘密の対象の指定を行う体制(機関数)



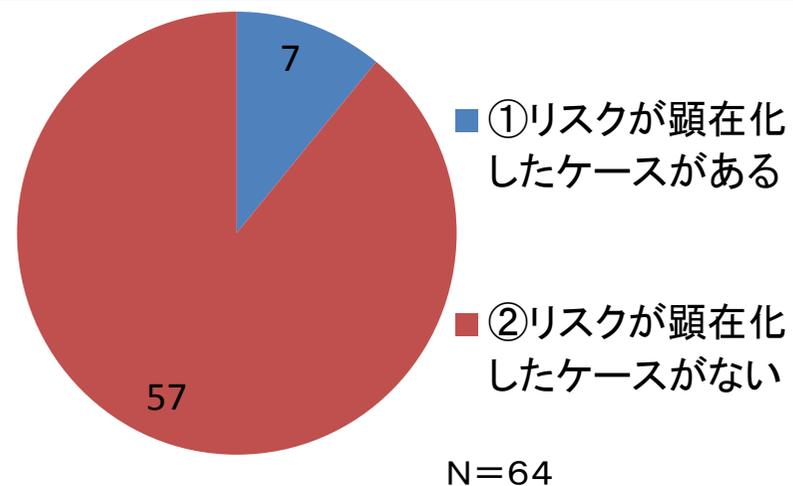
- ①学内で統一的に実施している
- ②学内で統ルールはあるが、指定はキャンパス単位・部課単位等に委ねている
- ③学内で統ルールはあるが、指定は個人(研究室・教員等)単位に委ねている
- ④全て個人(研究室・教員等)単位に委ねている(大学組織としては特段行っていない)
- ⑤その他

# 営業秘密管理に関する各大学等の取組状況等③

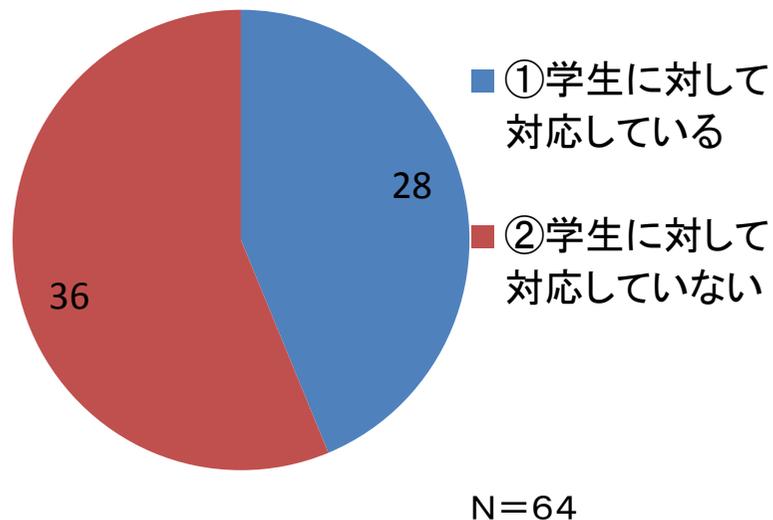
● 営業秘密の取扱い等に関し、学内教職員等に周知するために、研修を行っている機関数



● 営業秘密管理について、リスクが顕在化したケースがある機関数



● 学生に対して、営業秘密の取扱いについて対応している機関数



● 他組織と連携する際には、秘密保持契約を締結している機関数

